

NEWS (PRESS) RELEASE

令和7年1月31日

政策推進部 スマート改革・資産経営課

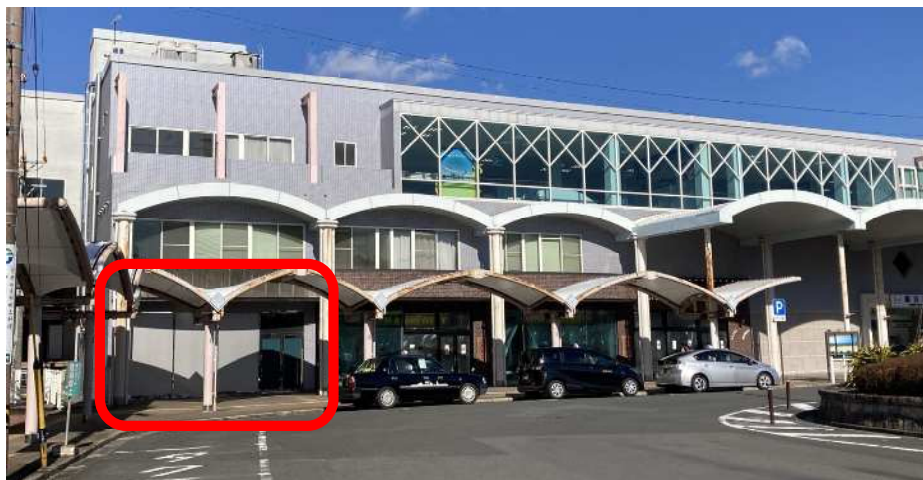
鵜方駅南口ロータリー側の1階トイレが利用可能になります

令和3年から閉鎖されていた近鉄鵜方駅南口ロータリー側の1階構外トイレが、令和7年2月中旬から再び利用できるようになります。

鵜方駅は、鉄道や路線バスを乗り継ぐ学生等を中心とした市民にとって、公共交通の重要な乗継拠点となっており、トイレ再開への強い要望もありました。また、公共交通で来訪される観光客にとっても玄関口となっていることから、当該トイレを再開することにより公共交通の乗継拠点として鵜方駅がより利用しやすい場所となり、公共交通の利用促進に繋がることを期待し、鵜方駅周辺の活性化の一助になればと考えます。

1 開設場所

志摩市阿児町鵜方1670-2 近鉄鵜方駅1階（南口ロータリー側）



2 開設月

令和7年2月中旬（予定） ※開設後は毎日（6時～19時）開放

3 設 備

（男性用トイレ） 小便器4台 温水洗浄機能付便器1台 手洗い2台 ベビーチェア1台

（女性用トイレ） 温水洗浄機能付便器2台 手洗い3台 ベビーチェア1台

（車いす対応トイレ） 温水洗浄機能付便器1台 手洗い1台 ベビーチェア1台

4 経 緯

当該トイレは、近畿日本鉄道（株）の管理により開設されておりましたが、コロナ禍における駅の利用者減少などにより、令和3年9月に閉鎖されました。

鵜方駅は、鉄道や路線バスを乗り継ぐ学生等を中心とした市民にとって、公共交通の重要な乗継拠点となっているほか、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、観光入込客数も回復傾向にある中、公共交通で来訪される観光客にとっても玄関口となっています。市民から再開への強い要望もあり、市としても当該トイレを利用できるようにすべく検討をしてきました。

そのような中、令和5年より、市は近畿日本鉄道（株）と再開に向けた協議を開始し、この度、市が維持管理を行うことで、当該トイレを再開する運びとなりました。

5 開設（維持管理）方法

市は、近畿日本鉄道（株）とトイレ部分を無償で使用する協定を締結し、清掃や消耗品の補充など、開設後の維持管理は市が行うこととしています。

6 改修工事

市は、開設に合わせて近畿日本鉄道（株）から無償譲渡を受けたトイレ設備について、洋式化等への改修工事を実施しました。なお、改修工事は、公共交通の乗継拠点整備事業として、三重県交通不便地域等移動手段確保総合対策補助金を活用します。

（改修内容）

- ・ 男性用トイレ 便器洋式化（温水洗浄機能付） 1 台 ベビーチェア設置
- ・ 女性用トイレ 便器洋式化（温水洗浄機能付） 2 台
- ・ 車いす対応トイレ 便器温水洗浄機能付加 1 台 ベビーチェア設置

（改修費用）

3,069,000円 ※三重県補助金（1/2）1,534,000円（予定）

（その他）

誰でも気軽にトイレを利用していただけるよう、入口にはピクトグラムや多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）による案内を掲示します。



連絡先

志摩市 政策推進部 スマート改革・資産経営課 担当：西澤

TEL：0599-44-0204 FAX：0599-44-5252 E-MAIL：shima-dx@city.shima.lg.jp